

〔透析医療事業部の取り組み〕

さて、透析医療事業部ですが、これまで同様より安全でより快適な透析治療を提供できるようスタッフ一同努力をして参ります。またフットケアをはじめとする合併症対策に、ますます力を注いでいきたいと考えております。

さらにシャントの維持とトラブル時の対応を充実させるために、医師と看護師の体制を充実できるよう準備をして参ります。

そして、上に書きましたように災害対策について重点的に取り組んでいきたいと思っております。地震などの大規模災害が起こったときに、透析治療を受けられなくなった皆さんをお引き受けできる体制を整備しておくことが大切です。また、私たちが被災をしたときに、透析を必要としている皆様の治療が滞ることなく継続されるように準備しておくことも重要な課題です。このことのためは、私たち偕行会グループの病院・クリニックだけではなく、近隣の医療機関、さらには遠隔地の透析施設などとの連絡を密にしていきたいと思います。また、私たちが被災をしたときに、透析を必要としている皆様の治療が滞ることなく継続されるように準備しておくことも重要な課題です。このことのためは、私たち偕行会グループの病院・クリニックだけではなく、近隣の医療機関、さらには遠隔地の透析施設などとの連絡を密にしていきたいと思います。また、私たちが被災をしたときに、透析を必要としている皆様の治療が滞ることなく継続されるように準備しておくことも重要な課題です。このことのためは、私たち偕行会グループの病院・クリニックだけではなく、近隣の医療機関、さらには遠隔地の透析施設などとの連絡を密にしていきたいと思います。



長い文章にお付き合いいただき、ありがとうございました。今年も皆様の安全で快適な透析ライフをサポートできるように、偕行会グループ透析医療事業部のスタッフ一同、立ち止まることなくがんばってまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

.....
これまで月刊誌として発行しておりました「さくら」ですが、本年より年 3～4 回の季刊誌として
リニューアルすることとなりました。今後とも、よろしくお願いいたします。 さくら編集部
.....